

愛媛県南予地域における保全計画に基づく活動状況等の評価
(令和5年度第4回世界農業遺産等専門家会議)

1 評価

貴地域では、地域の農業遺産の保全活動が概ね適切に行われていることが確認できたため、今後も引き続き活動を維持されたい。

2 専門家会議による助言事項

更なる保全・活用に向け、以下の助言事項を参考として今後の保全活動に取り組むことが望ましい。

- (1) 現行の保全計画は柑橘生産の振興に係る内容が中心となっており、伝統的な農林水産業システムの保全の観点から、地域の特徴的な景観や、伝統的知識・技術、生態系等に関する評価指標を改めて検討する必要がある。その上で、科学的・歴史的なエビデンスに基づいて、当地域独自の価値を踏まえた保全計画を策定されることを期待する。
- (2) 調査や勉強会、教育等、個々の取組は評価できる。保全計画の実施状況の評価に当たっては、数値的な達成状況のみならず、地域の活動がどのように農林水産業システムの保全につながり、どのような課題や解決策があるのかについても総括することを念頭に、保全計画に個々の取組を位置付けられたい。
- (3) 特徴的な景観である石積みの段々畑をどのように維持・補修してくのかについて、より具体的な計画を策定することが望ましい。併せて、石積み技術の伝承の取組については、景観にまつわるストーリーを伝えるという意識をもって取組を継続してほしい。
- (4) 外部から非常に多くのアルバイトが集まることは魅力的な地域であることの証左であるので、単なる労働力として捉えるのではなく、ファンやサポーター作りに繋がるよう、まず現地の住民自身が地域の魅力について考え、話し合い、理解することが重要。併せて、地域の誇りや郷土愛について教育にも結び付けていくことが必要。
- (5) 当地域における漁業と農業の関係性が、時代とともに半農半漁から分業に変わった歴史的な変遷を踏まえつつ、従来とは異なる新たなつながりを構築していくことを検討いただきたい。

(以上)